

平成 30 年度
教科に関する科目
生 活

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、試験問題の内容を見てはいけません。
2. 問題は 2 問とも解答してください。
3. 解答用紙は、1 問につき 1 枚（表のみ）使用してください。
4. 受験番号、氏名を解答用紙の指定された欄に 2 枚とも必ず記入してください。
5. この試験の解答時間は、「始め。」の合図があってから 60 分です。
6. 試験が終わるまで退出できません。
7. 「やめ。」の合図があったら、直ちにやめてください。
8. 下書きには、問題冊子の余白を使用してください。
9. 試験終了後、問題冊子を必ず持ち帰ってください。

問1 『小学校学習指導要領解説 生活編』（平成20年8月）「第2章 生活科の目標」の「第2節 学年の目標」について、次の問いに答えなさい。

- (1) 「1 学年の目標の設定」の「(1) 2学年に共通する目標の設定」に関して、生活科の目標が2学年に共通して設定されているのはなぜか、生活科が「第1学年及び第2学年に設定されている教科」であることを踏まえて二つあげて説明しなさい。
- (2) 「2 学年の目標の趣旨」には、「(4) 身近な人々、社会及び自然に関する活動の楽しさを味わうとともに、それらを通して気付いたことや楽しかったことなどについて、言葉、絵、動作、劇化などの方法により表現し、考えることができるようにする。」とある。このなかで児童が「活動の楽しさ」を味わい、さらに「気付いたことや楽しかったこと」を「表現し、考えることができるようにする」ことが求められるのはなぜか、二つあげて説明しなさい。

問2 『小学校学習指導要領解説 生活編』（平成20年8月）「第3章 生活科の内容」の「第2節 生活科の内容（1）」には、「学校の施設の様子及び先生など学校生活を支えている人々や友達のことが分かり、楽しく安心して遊びや生活ができるようにする」とある。このことについて、次の問いに答えなさい。

- (1) 児童が「学校の施設の様子及び先生など学校生活を支えている人々や友達のことが分かるようになるためにはどのような活動内容が必要だと考えられるか、二つあげて説明しなさい。
- (2) 児童が「楽しく安心して遊びや生活ができるようにする」ためにはどのような配慮が必要だと考えられるか、三つあげて説明しなさい。
- (3) この内容(1)を取り扱うことに関連して、「幼児教育から小学校教育への円滑な接続」の観点から必要な配慮や手立てについて、三つあげて説明しなさい。